

資料紹介

イルクーツク国立教育大学のカリキュラムについて

岩 田 年 浩

要 約

市場経済化の中で、さまざまな困難を抱えるロシアの大学における教員養成のカリキュラムを紹介する。経済学の教育が重視されていない状況が見て取れる。

キーワード：基礎学習計画，教授会の権限，Экономикс

I ロシアの教育事情と経済学

現在のロシアの教育の制度や体質の基礎になっているのは、1988年のソ連共産党中央委員会総会における、リガチョフの報告とその決定「初等・中等学校ならびに高等教育機関のペレストロイカの進行状況とその実現に当たっての党の課題」である。この理念は「個人の利益を社会の利益の前におく」ことにあるといえる。これを受けて、92年7月にロシア連邦教育法が採択されている。さらに、93年3月には国家の教育標準と言うべき学校教育における「基礎学習計画」が教育省によって決定されている（表1）。

この中で経済学的分野の占める位置は低く、第11学年で、社会的分野の中に週2時間ある程度である。これを反映して教育大学（事実上の学校教員養成大学）でも同じ傾向が出てくる。

この教育計画の特徴は各学校が任意の教科を必修や選択必修とすることが出来たり、学校独自の財源を持つことが出来たりという自由度が高くなっている点にある。

しかし、生活に不便な地域から教員が転出し、学校経営が成り立たない問題もあり、そうしたところでは保護者に教育費の一部を負担させる事態も生じている。

さて、ロシアの各教育大学の教授会は次のような教育理念と権限をもっていることが、（イルクーツク国立教育大学の場合には）カリキュラムに記されている。

「1 学生の自主的な勉学を促すことに配慮し、国家の教育計画に基づき、各科目数と進度を決定することが出来る。

2 実習科目の種類と時間割を決定できる。

表1 基礎学習計画

分野	学年													
	学年ごとの週当たりの授業時間数													
	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ロシア語	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	—	—
文学	4	4	4	4	4	4	4	8	8	6	5	5	4	4
芸術	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	—	—	—
社会的分野	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2	3	4	4	4
共通分野	—	1	2	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—
自然的分野	—	—	—	—	—	—	—	2	3	6	8	8	4	4
数学	5	5	5	4	4	4	4	5	5	5	4	5	3	3
情報科学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—
体育	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3
テクノロジー	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2
選択必修	5	4	3	1	3	5	5	3	3	4	2	3	12	12
選択	24	24	24	20	22	24	24	29	30	32	32	33	32	32
個別・グループ別授業	2	3	3	2	3	3	3	3	3	—	3	3	6	6
合計	26	27	27	22	25	27	27	32	33	35	35	36	38	38

- 3 専門科目の具体的な教育プログラムを作成することができる。
- 4 過疎地の孤児院・寄宿学校の教師の養成、児童生徒の技術クラブや地域史学習の指導者の養成、課外授業の教師の養成の方策を決定できる。
- 5 各共和国の特質を考慮に入れた科目の配置を決定できる。
- 6 優秀な学生の教育機関の短縮を決定できる。」

ロシアの現在の経済学は一部のマルクス経済学に固執する研究者を除いて、表舞台からは失せており、ツァーゴロフの『経済学教科書』などは図書館の書庫の片隅におかれており、経済学という言葉すらも98年ごろから従来の政治経済学がイメージできる Экономика から、近代経済学を意味する Экономикс へと変わってしまっている。ここでは、この大学の4つの学部(テクノロジーと商業の学部、労働・職業教育の学部、初等教育の学部、歴史学部)を取り上げたが、いずれにおいても経済学は一般教養科目(一般文科系科目とされることもある)の1つに含まれるだけである。これは近代経済学の概論と見て良からう。これでは市民の中に経済学の知識やセンスが根を張っていくのは難しいと言えよう。

なお、体育の科目については他の科目とは関係なく、週に4時間行われている。

この資料は1996年にイルクーツク経済アカデミーを訪れた時に入手した資料を元に、以後の変化を加えて作成したものである。

1 テクノロジーと商業の学部

修業年限 5年

養成目的 テクノロジーと商業科目教師、工業系科目教師の養成

科目群

一般教養科目	世界文明の歴史	
	哲学	
	現代自然科学概論	
	文化学	
	文化人類学	
	世界芸術文化	
	経済学	
	社会政治学	
	法学	
	数学と情報学	
	言語文化	
医学・社会学系科目	児童、青少年の身体構造、生理、衛生概論	
	健全な生活と病気予防の基礎	
	緊急事態における人命の安全、保護	
	応急治療	
	選択コース	
心理学的及び教育学的教授法	教職原論	
	人間心理	
	年齢別心理学	
	社会心理学	
	教育心理学	
	教育理論、システムと技術	初等教育理論と技術
	教師の特殊心理と矯正	
	教育の哲学と歴史	
	教育システム管理論	
	技術・商業教授法	教授法の一般的問題
		テクノロジー教授法
		商業論
選択科目	自然数学科目	数学
		物理学
		化学
	一般技術科目	技術工学
		水力学と水力機
		熱工学と熱力機
	技術科目	現代の製造業と今後のテクノロジー
		度量衡法、規格化、測量原論
		生活機能の安全性
	電気無線工学科目	電気工学
		無線電子工学
	図表・製図科目	図形幾何学
		製図
	商業科目	マーケティング・マネジメント原論
		創造・デザイン科目

	商品デザイン科目	技術的創作
		インテリアデザイン
		美学と工業デザイン
		被服設計
	専門科目	縫製装飾技術実習
		絵画
		被服デザインと装飾
		コンピュータ技術による被服デザイン
		デザイン素材の材料学と技術
	追加専門科目	材料学
		縫製技術
		縫製機械
		マイクロ生物学、生理学、栄養学
		商品学と調理技術
		企業経営と管理

2 労働・職業教育の学部

修業年限 5年

養成目的 労働・職業教育教師(女子の部)の養成

科目群

一般教養科目	ロシア史		
	哲学		
	政治経済学		
	経済学		
	論理学		
	世界・ロシア文化		
	外国語		
	科学・技術史		
	経済学と商業		
	体育		
	心理学		
	教育学		
	教授論		
専門科目	就職ガイダンスと労働組合活動教授論		
	児童の身体的・心理的健康		
	デザインと技術の基礎		
	情報とコンピュータ技術		
	技術工学		
	電子無線工学		
	教育の技術的手段		
	生態学		
	生活の安全		
	商業論		
	マイクロバイオロジーと生理学、栄養		
	食物調理		
	縫製品の材料学		

	縫製技術		
	縫製機械		
	被服デザイン		
	コンピュータによる被服デザイン		
	工業美学		
	家政学		
	アトリエ実習		
選択科目	美術デザインクラブ		
教育実習	実習名	セメスター	週
	テクノロジー		4 2
	製造業・非製造業		9 3
製作実習	実習名	セメスター	週
	①		2 1
	②		4 4
	③		6 5
	④		7 6
	⑤		8 5
	⑥		9 5
卒業論文			10 2
国家試験受験科目	1 製造・機械学		
	2 専門科目		
	3 教育学と教授法		

3 初等教育の学部

修業年限 5年
 養成目的 初等教育教師の養成

科目群

一般教養科目	世界文明の歴史		
	哲学		
	現代自然科学概念		
	経済学		
	世界芸術文化		
	文化学		
	文化人類学		
	法学		
	情報学・数学		
	外国語		
	生態学		
	論理学		
	倫理学・美学		
	宗教史		
	体育 言語文化		
専門科目	青少年		
	健康な生活を病気の予防		
	緊急事態での人命の安全と保護		
	応急処置		

	心理・教育概論		
	教職課程概論		
	人間心理		
	年齢別心理		
	社会心理		
	教育者の特殊・矯正心理		
	児童教育理論と心理 教育技術		
	教育理論と心理 教育技術		
	教育技術とテクノロジー		
	教育哲学と教育史		
	教育システム管理学		
	応用文法		
	言語文化		
	人間心理 緊急問題		
	書道		
	教育技術のイノベーションプロセス		
	進化する教育		
	数学教育の新しい方法		
	識字教育の新しい方法		
	ロシア語教育の新しい方法		
選択科目	能力発達診断学(児童の知能診断)		
	数学		
	植物生態学を基礎とする植物学		
	動物生態学を基礎とする動物学		
	児童文学と文学史概論		
	ロシア語教授法		
	数学教授法		
	自然科学教授法		
	労働教授法 実習を含む		
	絵画教育法		
	音楽教育法		
	課外読書教授法		
	体育教授法		
	自然地理学と地誌研究		
	言語文化		
	選択科目(合唱)		
実習	実習名	Semester	週
	科学的教育実習	2	5
	野外実習	2	2
	農業実習	6	1
製造実習	実習名	Semester	週
	実習①	6	5
	実習②	7	7
	実習③	10	2
卒業論文		10 Semester	
国家試験	国家試験受験科目	試験(卒論の成績によって試験数は左右される)	
		面接	

		卒論	
学生の選択コース	医療心理学		
	積極的な創作活動の発達	a 低学年児童 才能のある子どもの指導	
		b 教育プロセスの現代的技術	
		c コミュニケーションと教育の効果的理論	
	家族と家庭生活の心理学	a 助言指導	
		b 児童と未成年者の行動	
		c 教育についての意見の自由な交換	
学生の選択コース	1 心理教育・統合論	a 初等教育科目	
		b 言語・書き方の心理的発達	
		c 心理学の理論的基礎	
	2 教育方法	a 教育の二者択一法	
		b 学校教育への現代的アプローチ	
	3 芸術	a 音楽・文学の基礎	
		b 絵画教育	
		c 美術工芸	
	4 ロシア語・数学	a ロシア語	
		b 数学	
	5 自然科学	a 自然科学論	
		b 植物学 動物学 地理学、地誌学	
	6 学校経営	a 学校経営	
	7 哲学・歴史	a 哲学	
		b 歴史	
	8 心理学	a 健康の心理	
		b 児童、未成年者の心理	

4 歴史学部

修業年限 5年
 養成目的 歴史、社会政治科教師の養成

科目群

科目群中の専門科目	
ロシア史	1861-1900年
ロシア史	1901-1917年
ロシア史	1918-1937年
ロシア史	1938-1990年
歴史教授法	
社会科教授法	
ロシア史歴史学	
民法と裁判	
労働・家族法	
刑法と裁判	
シベリア史	
欧州・アメリカ新史	
アジア・アフリカ新史	
倫理学・美学	
世界・ロシア文化	

	国民教育の経営・管理
	ロシア・外国文学史
	教育心理学
	教育学
	教育作品の教授法
	教育史
	初等教育概論
	特別講義
	ロシア哲学史(9-19世紀)
	歴史的業績に見る強制集団化に関する問題解説
	ロシアと東洋諸国
	ロシアと現代世界
	ロシアの文化遺産と現在
	19世紀中頃から20世紀初頭のロシアにおける市場と商品・金融事情
	1953-1987年におけるソ連邦の社会政治的生活：声明と実際
	ソ連邦における民族的関係(80年以降)
	ロシアのコサック階級：歴史と現在
	コミンテルンの歴史：新視点
	中世の政治的特徴
	ロシアの政党：歴史と現在
	歴史方法論
	外国人歴史家の目によるロシアの政治史
	経済学史
	歴史と社会学
	哲学と歴史
	家庭生活の倫理と心理
教育実習	
特別ゼミナール	1920年-30年代のアンガラ河近郊の社会経済的発展
	中世文化
	19世紀中頃から20世紀初頭にかけてのシベリアの社会経済的、政治的発展
	ロシアにおける社会政治的生活(1917-1930年)
	ロシアと西欧諸国
	政治家、政界人の歴史的特徴